

# サンティアゴ・デ・コンポステラ大学スペイン語コース

フラメンコ、地中海のビーチ、闘牛、パエリアなど、スペインといえば常にあげられる話題の他に、これらのイメージをもって訪れた者たちを驚かせるEspaña verde (エスパーニャ・ベルデ:緑のスペイン)と呼ばれる自然環境に恵まれたスペイン北部地方があります。

中でも、ガリシア州はスペインの大西洋側に位置し、昔、ローマ人により太陽が死ぬ場所と考えられていたヨーロッパ最西端の地、「地の果て」を意味するフィニステレがあります。

日本において、ガリシア州の州都であるサンティアゴ・デ・コンポステラをご存じの方は、そこが千年来の巡礼路であるカミーノ・デ・サンティアゴの最終目的地であるということでしょう。サンティアゴ巡礼路を歩き、コンポステラに到着した日本人巡礼者達は、日本から遠く離れた文化的に異なる場所にいるにもかかわらず、意外にも見慣れた風景を発見します。

50年以上前からインターナショナル・コースが提供する外国人向けのスペイン語・文化コースを受講するためサンティアゴ・デ・コンポステラ大学に来る日本人学生も同じような印象を持ちます。

日本と同様、ガリシアにおいて海の存在は、地理や文化、その土地に住む人々の生活の糧に影響を与えます。この海の文化に由来する共通の特徴は、世界的に知られた種類豊富で品質の高い魚介類です。東京の魚市場、もしくはサンティアゴ・デ・コンポステラのアバスト市場を訪れることは地元文化に溶け込むユニークな経験となるでしょう。



アバスト広場(サンティアゴ・デ・コンポステラ)

また、穏やかで訪れる人を温かく受け入れ歓迎し、シャイで少し曖昧なところがあるガリシア人の性格は、日本人の性格と似ています。美術や建築、そしてその他の文化の中に表現される伝統と新しさの融合、世界遺産に登録されているサンティアゴ巡礼と熊野古道は姉妹巡礼道となっており、日本とガリシアにおける文化交流の懸け橋となる点です。

宗教的、精神的、文化的な理由、またある種の冒険を求めて世界中から訪れる巡礼者たちは、サンティアゴ巡礼路—EUのヨーロッパ文化ルートとしても認定されている—を通じて何世紀もの間、サンティアゴ・デ・コンポステラの街で合流してきました。巡礼路は、出会いや発見の場所であり、最終目的地であるサンティアゴの街は、全ての人に開かれた国際都市として知られています。こういった特徴から、大学の外国人向けスペイン語コースを提供するインターナショナル・コースでは、種類豊富なスペイン語・文化コースに加え、サンティアゴ巡礼路にフォーカスした特別のコースを提供しています。このコースでは、教

室でスペイン語や巡礼路に関する文化を学ぶだけでなく、実際に巡礼者となって巡礼路の魅力を体験する内容になっています。



巡礼中の学生グループ

日本からは、関西大学、神戸市立大学、天理大学、和歌山大学、秋田国際教養大学、そして東京のセルバンテス文化センターからの学生が、ここサンティアゴでスペイン語コースを学びに多くやってきます。国際色豊かな環境のもと、平均して4週間のスペイン語コースを受講しています。

彼らがサンティアゴで勉強する際に高く評価するのは、治安の良さ、物価の安さ、種類豊富な文化プログラムやイベント、大学都市、活気のある旧市街の雰囲気、ホストファミリーであるガリシア人の人柄です。夏には、花火や展示会などあらゆる種類のイベントが催され、毎日街のどこかで行われる演奏会などお祭り一色になるサンティアゴの街に多くの学生が驚きます。

サンティアゴ・デ・コンポステラ大学のインターナショナル・コースでは、一年を通してスペイン語・文化のレギュラー・コースに加え、学生の要望に応じて個別対応コースも提供しています。またスペイン語目的別コース(EFEコース)ではスペイン語の語学学習と観光、ビジネス、健康学、環境学、国際関係または食文化といったテーマの専門的スペイン語学習を組み合わせ、各分野に携わる企業や機関へのインターンシップも行います。

夏季コースのプログラムは、大学の専門講師による週20時間のスペイン語の授業に、午後にはコースのアカデミックな内容を補完するものとして、ガリシア文化に触れるワークショップ、大聖堂や歴史の色濃い市街区や美術館巡り、スペイン映画の上映や、講演会、グルメツアー、週末の小旅行やスポーツ活動など余暇のアクティビティーが含まれます。スペイン人学生との交流はもちろん、ヨーロッパ、アメリカ、カナダ、ブラジルからの学生など、夏季コースでは最大40カ国からやってくる学生と共にスペイン語を勉強します。1クラス最大15名と限られ



た人数での授業では、学生間の活発なるコミュニケーションを促進し、異なる文化を持つ学生間での意見交換はスペイン語の学習をさらに豊かなものにします。学生から特に評価が高いのは、コミュニケーションに重点をおいたスペイン語教授法に、ボランティア活動やハイキング、そしてスポーツなど学生各自が選べる自由活動です。



スペイン語の授業風景

サンティアゴ・デ・コンポステラ大学にて始動した目的別スペイン語コースにおいて、日本人学生が特に興味をしめしているコースはスペイン語と食文化コース、そしてスペイン語と巡礼コースの2つです。最初のコースは、スペイン語と文化の学習に食文化への専門的スペイン語学習を合わせたもので、専門家によるセミナーや実際にスペイン料理を作ります。二つ目の巡礼コースでは、千年来の巡礼路の様々な側面（歴史、美術、文学、地理、食文化と現代）から勉強し、スペイン語の

大学の学長室 背景;サンティアゴ大聖堂(写真左上)／市内見学中の学生グループ(写真右上)  
東京からの学生グループ ガリシア文化のパーティーにて(写真左下)／サンティアゴ・デ・コンポステラ大学の図書館(写真右下)



サンティアゴ巡礼を歩く外国人学生

ブラッシュアップを組み合わせたコースです。コースの後半は、実際に巡礼者となって講師の付き添いのもと巡礼路の最終区間を歩きます。

短期間のコースを受講した幅広い年齢層の日本人学生の多くが、次の年により長い滞在期間でスペイン語を学ぶためサンティアゴ・デ・コンポステラに戻ってきます。これは、彼らが街や大学で過ごした最初の経験を高く評価していることの現れです。

サンティアゴ・デ・コンポステラの魅力を発見しに是非お試しください。

ここでの経験は決して皆さんの期待を裏切りません!

サンティアゴが皆さんをお待ちしております!

**Lanzada Calatayud Álvarez**

ランサーダ・カラタジュ・アルバレス

**Gerenta de los Cursos Internacionales**

インターナショナル・コース マネージャー

